

狂言
花盗人
 野村 万作
 石田 幸雄



梅若会別会能

能
盛久
 松山 隆之



能
山姥

山中 迺晶
 川口 晃平

令和四年三月二十日（日）
 午前十一時開演（午前十時開場）

梅若能楽学院会館

正面指定席 一〇、〇〇〇円
 正面横指定席 九、〇〇〇円
 中・脇正面自由席 八、〇〇〇円
 補助席 六、〇〇〇円
 学生席 四、〇〇〇円

能
盛
久
松山 隆之

大日方 寛
間内藤 連
柿原 弘和
田邊 恭資
一噌 隆之

狂言

花
盜
人

野村 万作
石田 幸雄

能
山
姥
山口 晃平
山中 遼晶

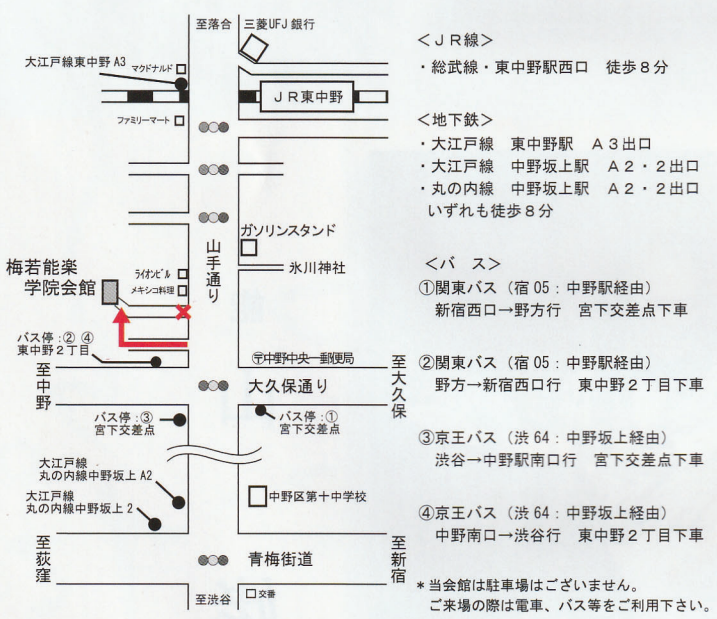
福王 和幸
間深田 博治
大倉慶乃助
曾和伊喜夫
小寺真佐人
藤田 貴寛

《 休憩十五分予定 《

《 休憩十五分予定 《

『盛久』もりひさく京に隠れていた軍將、主馬判官盛久は、源氏に捕らえられ関東へと送られた。途中警固の武士、土屋三郎に許されて日頃信仰する清水寺へ最後の参詣をし鎌倉へ着いた。処刑は明日早暁に迫り読経を終え、ふとまどろんだ盛久は清水観音の霊夢を見た。やがて処刑の時刻になり、盛久は金文字のお経を手に由比ヶ浜へひかれてゆく。太刀取りが盛久の背後から太刀を振り下ろしたが、手にしたお経から発する光に目がくらみ、思わず落とした太刀が二つに折れた。盛久は將軍源頼朝の前に召し出され、霊夢の内容を語ると頼朝も全く同じ夢であった。奇特に思った頼朝は罪を赦し、盛久に壺を与え、勇ましく舞を舞った。

『山姥』くやまんばく山姥の山めぐりの曲舞を舞うことで有名な遊女は百万山姥くひやくまやまんばくと巷で呼ばれていた。その遊女が都ノ者と従者を連れて善光寺へ向かう。途中、越後の険しい山道にさしかかると突然あたりが暗くなり、そこに現れた里の女に案内され一行は山女の庵を訪れる。山女は一行に自分が本当の山姥だと正体を明かし、遊女に曲舞の謡を聞かせてほしいと頼む。それを聞いた遊女は驚き曲舞を謡おうとする。山女は月夜に自分の真の姿を見せると言い残して姿を消す。その夜、一行の目の前に恐ろしい鬼女が現れて、遊女の謡に合わせて本当の曲舞を舞い、四季折々に雪や花・月を訪ねる山めぐりの有様を舞い示し、大自然の雄大な姿を現す。



*従来の入口が工事のため矢印の通り迂回してのご入館をお願い致します。
〒164-0003 東京都中野区東中野 2-6-14
公益財団法人 梅若会 (梅若能楽学院会館)
TEL : 03-3363-7748 FAX : 03-3363-7749

【観能チケットとお願い】

- ◆正面指定席 10,000円・正面横指定席 9,000円・中脇正面自由席 8,000円・補助席 6,000円・学生席 4,000円
- ◆チケットは梅若会 HP からメールまたは電話、ファクスにて郵便番号、ご住所、お名前、ご連絡先電話番号、ご希望席種をお書きの上お申し込み下さい。(https://umewaka.org/ TEL 03-3363-7748 (不定休)・FAX 03-3363-7749)
- ◆梅若会定式能および梅流会のチケットはご利用できません。別途チケットをお求め下さい。
- ◆都合により出演者、曲目に変更がある場合がございます。 ◆当日のクローク (荷物お預かり) は閉鎖させていただきます。
- ◆梅若会の感染予防対策の取り組み内容
当館は自主公演前に全館ウイルス除菌及び消毒を行います。着席は一席毎、上演中も常に換気を行い密を回避します。
- ◆観能に際してのお願い
入館時における検温・消毒、個人情報の提出にご協力下さい。他のお客様へのご配慮として、マスク等の着用をお願いします。
当日は館内における飲食を禁止と致します。お客様ご自身による健康管理をよろしくお願い申し上げます。
- ※個人情報は チケット裏面にご記入頂きます。

